

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	地下水の水質調査事務			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 8	-
【施策名】 環境の保全	総合計画書 (ページ)	99	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 8 公害対策費	事業 1 公害対策事業費
-----	---------	-----------	-----------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内の地下水(井戸水)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 水質調査
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 水質に係る環境基準を達成し、井戸が安全に使用できるようにする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 環境基準を達成した井戸の数
	③ そのために何をしましたか。 地下水(井戸水)の水質調査	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 井戸の調査数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	回	1	1	1	
	成果指標	②の数値	か所	6	6	6	
	目 標	②の目標値	か所			6	6
		目標値設定の考え方	環境基準を達成する井戸の数				
活動指標	③の数値	か所	6	6	6		

3 経費	事業費(実績)		円	48,600	50,544	50,544	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	48,600	50,544	50,544	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	131,270	133,074	132,984		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 事業開始時期は、昭和52年まで確認できる。市内各地区の地下水(井戸)の水質を調査することにより、土壌汚染等の状況も把握する。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 近年、土壌汚染について社会の関心が高まっている。目視等によって確認できない地下の状況を把握することが重要である。

仕 事 の 内 容	地下水の水質調査事務			
担当部署・課長名	環 境	課	環 境 公 害	係 課 長 名 宮 鍋 和 志

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	⑧その他（市民が保有している井戸を調査する）		
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
井戸を所有している市民を把握し、毎年同じ場所ではなく、調査地点が変更できるようにする。					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	今後も新たな地点の調査を行っていききたい。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	井戸を保有する市民の確認に努めた。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
今後も新たな地点で調査できないか検討していききたい。					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	今後も同一場所ではなく、調査地点を変更していききたい。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	地下水（井戸）調査は、主に個人宅内に設置してあるものが選定場所であることから、井戸の設置者である住民の承諾が必要となる。				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。